

**第68回大磯西行祭  
献詠俳句・短歌入選作決定!!**

皆さんから募集しました第68回大磯西行祭献詠俳句・短歌の各部門の入選作品が決定しました。選者の献詠された句・歌及び入選作品は次のとおりです。(敬称略・学校は応募時のもの)

**〔選者〕**

◎ 献詠句

本井 英

令和はや七年となん西行忌

山田 真砂年

円位忌の夜は他郷に飯食うて

岸本 尚毅

飲食を常の如くに西行忌

山西 雅子

草はらをゆく薄雲や西行忌

今村 妙子

西行の日や花の香と墨の香と

◎ 献詠歌

今井 恵子

すれ違つ声に聞こえて「ここに居るよ」言葉の野原に蒲公英が咲く

英が咲く

花山 多佳子

明けやらぬ空の三日月いつしかにほのかに曇る句玉となる

**〔応募入選作品〕**

◎ 献詠俳句

〈一般の部〉

応募総数347句

第一位 滋賀県大津市

太田 怒志

エプロンを番上に着ぶくれて

第二位 東京都東久留米市

新濃 健

芒種の雨やまほろばの田を満

たす

第三位 東京都足立区

田中 正博

秋澄むや白杖もまた深呼吸

第四位 愛知県知多市

浅田 香歌

日曜の朝の旧道息白し

〈小学生の部〉

応募総数238句

第一位 大磯町立大磯小学校

町田 紗奈子

ぬぐとぎにセーターパチパチ

いたい音

第二位 さいたま市立尾間木小学校

窪田 悠喜人

きゆう食のさんままるごと食べきった

第三位 大磯町立国府小学校

山澤 翔

帰り道雪虫いたらおいかける

第四位 大磯町立大磯小学校

伊藤 稟子

雪がっせん真っ赤になつたみんなの手

〈中学生の部〉

応募総数43句

第一位 名古屋中学校

富田 輝

風邪ごこち蓋の裏にもヨオグ

ルト

第二位 岩沼市立岩沼中学校

大石 怜和

針供養母のようにと夢を見る

第三位 岩沼市立岩沼中学校

高橋 啓太

蝶つかむ今日も明日も春休み

第四位 茨城県立下館第一高等学校付属中学校

篠崎 りあん

筈や生徒会長立候補

〈高校生の部〉

応募総数58句

第一位 茨城県立下館第一高等学校

横塚 ひばり

保健室の壁が白くて運動会

第二位 愛媛県立今治西高等学校

守田 慎乃助

ジエノサイド知らず駆けゆく

冬野かな

第三位 愛知県立時習館高等学校

山田 ひなの

アロワナの丸き背中や水の春

第四位 中央大学杉並高等学校

林 真悠子

マフラーの軌跡残して走りけり

◎ 献詠短歌

〈一般の部〉

応募総数202首

第一位 埼玉県川口市

崎本 ミナト

本当にあなたの子供でよかつたと言いだせぬま明日から一人

第二位 石川県金沢市

渡邊 美愛

夕暮の底で玉葱きざみつつ祖母はわたしを母の名で呼ぶ

第三位 神奈川県相模原市

榎本 ハナ

父が逝く日にバンザイと兄が

征く幼き日のこと祖母は語れり

第四位 神奈川県小田原市

川口 一男

幾坂を越えてきて逢いし大平

洋ついと答えの出できた広さ

〈小・中学生の部〉

応募総数84首

第一位 岩沼市立岩沼中学校

石澤 美尋

海の先にどんな景色があるの

だるう考えながら瞳をとじる

第二位 岩沼市立岩沼中学校

三浦 蒼海

地球つてすぐく大きいものだ

けどわたしの見ている世界も大きい

第三位 山口大学教育学部付属

光中学校

横道 玄

基地の街の空に雲引き六列の

飛行機の飛ぶ午後から雨だ

第四位 岩沼市立岩沼中学校

三浦 快斗

空を見てぼーっとしたまま動

かない何か不思議な空っぽの

時間

〈高校生の部〉

応募総数28首

第一位 茨城県立結城第二高等学校

武井 粥斗

下校道空いた右手がさびしくて君の左手くっつけ握った

第二位 星野高等学校

新井 咲那

いつの日か君と覗いた望遠鏡

ほこりで見えぬ元の輝き

第三位 愛知県立時習館高等学校

山田 ひなの

読みかけのままの「ころ」を開くとき優先席に満ちた静謐

第四位 星野高等学校

長谷部 澄香

君がいた水面に浮かぶ笹舟をぐしゃりと潰し捨てた日曜

**問**

産業観光課 ☎内線334

鳴立庵 ☎(01)6926

